

刊夕 日二月三



日刊日曜日... 常識講座... 部屋をもつ飛行機の意... 味で大型旅客機のこと... 現在内地台湾航空路に... 使用されているグラス... 型や噴茶設備まである... ナンボム型飛行機... などは日本での代表的... 座

植田町の商店結束 総合的組合を設立

商権擁護繁榮策を樹つ

植田町の米穀肥料、雜貨、酒、出資總額は二万圓(一口五十圓、二百口)で現在申込者は五十名に達してゐるが尙平商會高木書記指導のもとに最近商権擁護、共存共榮の建前から商工業組合法による組合の設立が目立つて多くなり平町でも既に五、六の組合が組織されてゐるが植田町の如き小都市に於ては單一的組合を設立することは同業者の少い關係から不便と困難が多いので前記の各種營業者が合同して一組合を設立することに決つたもの

前回より俵十錢安

昨日の定期俵米共販

石城販聯の一日の定期俵米共販は左の如く出荷八百二十九俵に對し三百三十七俵は不調に終り相場は昨報の通り一俵につき十錢下落を示した	
平三號 一四六四錢	神谷 一四六六錢
平一號 二號 不調	飯野一號 一四六八錢
平二號 一四六四錢	植田 不調
勿來 一一四六六錢	飯野二號 一四六三錢
	大野 一四七〇錢
	高久 不調
	草野 一四六四錢

兩派の對立激しく 勿來町會また流會

悩み深し町長問題

勿來町の後任選挙町會は既報の如く一日招集の豫定のところ現助役横山太一氏昇格派と

別個に来る五、六日頃豫算町會を開くが新豫算は九萬一千圓で前年度より三萬八千圓の増額となつてゐる

豫算町會招集

來る五、六日頃

白衣の天使菊池さん

チブス患者看護に奮闘

平町南町清野キヨ女史經營の平看護會員菊池池をさんは去月二十八日付で永戸村長裁野倉太氏から金一封を添へて感謝状を贈られた、菊池さんは同會の模範看護婦で昨年十一月永戸村に賜

神社の屋根を剥ぐ

昭和金助張りの銅板泥棒

金助高藤をねらつて名古屋城の向ふを張つて神様を裸にした不信心極まる泥棒がある、植田町字金畑、八幡神社の屋根銅板五十六枚、同社拜殿内の銅板百二十枚合計百七十六枚価格二百七十六圓が何者にかはぎ取られてゐるのを去る二十六日氏子總代の小川福太郎さんが発見をばつして植田署に訴へ出た、捜索の結果犯人は宮城縣登米郡新田村生

入遠野村部落

更生方針極まる

百圓札で釣つて

前科六犯のホラ松檢舉

安積郡赤津村字北、前科六犯官島松三郎(三)は去月十七日平町長橋町の某乾物屋に至り「自分は内郷村御台の區長の親戚の者だが明晩御祝儀があるから」それを使ふと酒一升と饅頭數個を買ひ百圓札しか持たせがないから町で買物をして歸りに拂ふと言葉巧みに前記の品物と現金五圓五十錢を借りたまゝドロンを極め込んだ、訴へにより平署で捜査中一日檢舉したが同様手段で三件の詐欺を働いてゐたことを自白した

平商配屬將校

轉任

後任は中村氏兼務 平商業學校校長、工兵大尉佐藤今朝次郎氏は今度の陸軍定期異動で原隊(仙台工兵第二聯隊)付となり後任は警中(新配屬)の中村貫一中佐が兼務する

杉田貨物主任

常陸太田縣長となる

平購買物係主任杉田四郎氏は一日付で茨城縣常陸太田縣長に榮轉近き赴任する 杉田氏は昭和三年十二月來平、貨物主任として常に郡農會、出荷組合等と連絡を

平町新豫算(一)

歳入の部	歳入合計四六六、七一三圓
△財産より生ずる収入	四五六圓
△使用料及手数料	一一〇、八一五圓
△水道工事費収入	六、四四二圓
△交付金	五、〇五六圓
△國庫下渡金	二八、五〇一圓
△納付金	五圓
△就學獎勵金	二二〇圓
△國庫補助金	三、七五四圓
△縣補助金	二、八三〇圓
△寄付金	二〇、〇二二圓
△繰入金	三、〇〇〇圓
△財産賣拂代	一五、五〇一圓
△繰越金	二二、〇〇〇圓
△雜收入	一三、二六五圓
△町税	一五四、八五六圓
△町債	八〇、〇〇〇圓
△町債	八、七四〇圓
△戸ごの平均一八圓で町	〇戸ごの平均一八圓で町
△備考	【備考】使用料及手数料のうち
△備考	使用料は小学校授業料五、四三〇となる、町債八〇、〇〇〇
△備考	五六圓、商業學校授業料二、〇〇〇
△備考	九一七圓、水道使用料一、一七五圓、
△備考	九〇圓、水電使用料一、四一五圓、
△備考	八四圓を主なるものとして合
△備考	計一〇六、一六九圓となる、
△備考	町税のうち特別税戸數別は八〇〇圓。

女子青年總會

九日平館で開催

郡聯合女子青年總會集會は來る五日開催豫定のところ九日午前十時から平館で開催と決定、國服制定、四大節には國旗掲揚實施その他を協議、植松海軍少將の講演がある筈

淺川綴驛長

土浦縣長に榮轉

綴驛長淺川虎彦氏は一日付で土浦縣長に榮轉した、後任は高萩縣長加藤鐵治郎氏

警中記念講演

講師派遣申請中

警城中學校では來る十日の陸軍記念日に記念講演會を開催すべく福島縣隊司令部に講師派遣方を請申中

酒造税は完納

景氣好轉の反映

平稅務所管内第三期酒造税十四萬五千五百四十四圓の納期は二月末日で例年酒造家は賣掛代金の回収に、稅務當局は滞納防止に頭を悩ますところであるが今年は一一般財界の好轉の反映が酒造家にも懐中至つてあつた、かく期日までに完納の好成績を挙げ稅務當局をほつとさせた、この分では引つゞき今月末納期の第四期分も完日檢畢された

夏井農事講演會

夏井村農會主催の農事講演會

夏井村農會主催の農事講演會は今月十五日同村小學校で開催講師は農試分場矢ヶ崎技手

中堅農民修了式

去月十五日から開講中の石城郡農會中堅農民講習會修了式

去月十五日から開講中の石城郡農會中堅農民講習會修了式は去月二十一日午前十時から平町團休事務所で行

小名濱町國防婦人會

小名濱町では來る十日の陸軍

記念日をトして國防婦人會の發會式を舉行すべく會員を募集中であるが現在六百名を突破してゐる

夏井農事講演會

夏井村農會主催の農事講演會

夏井村農會主催の農事講演會は今月十五日同村小學校で開催講師は農試分場矢ヶ崎技手

馴染み酌婦をひやかされ

湯本町天王崎品川白煉瓦工場

湯本町天王崎品川白煉瓦工場職工中山文一郎(三)は去月二日夜九時ごろ同町料理店秀の家方店先で同町の千坂清吾管波末吉の兩名は自分が酔つて馴染みの同家酌婦黒澤きくをひやかしてゐるのを見て嫉妬の余り靴で蹴る毆るの暴行をなし兩名にそれ／＼全治三週間の傷害を負はせたこと發見一日檢畢された

産業

栽培法 (中)

ウドの多収
青年育農の研究に
成る品種二十五種
肥料は植えつけと同時に全
施肥の六割を施す、それと
堆肥が最も経済的であり良
品を産出することが出来る
成分量は堆肥五百五十貫、
人糞尿百貫、魚糞三十貫、大
豆糞二十貫、鳥糞三十貫、
草木灰四十貫、右の肥料成
分察察四貫二百六十五分、
磷酸二貫六百四十分、加里
二貫六百三十五分、この肥
料代金二十二圓二十五銭、
(堆肥人糞尿は自給のため
計算から除く) 以上はいは
ゆる收穫八百貫取りの植え
つけ三年次株に施せる成分
であつて植えつけ年次によ
る収量は植えつけの第一年
に三百貫、第二年に六百貫
第三年に八百貫、第四年に
七百五十貫、第五年に七百
貫、第六年に六百貫であつ
て五、六年目に改植するこ
とが必要である、
施肥は七月中旬が適當であ
るこの期節は最成育期であ
つて立木に肥効が現はれ大
切なる根の部に残らないで
はないかと疑問をもつ人も
あるかも知れないが肥効の
現はれるのは八月の下旬で
あつて「ウド」は他の作物ほ
どに早く肥効が現はれて來
ない、その頃白い花が見え
るが品種改良に使用しない
限り一花もあまらず摘花す
ることである、それは肥料
と立木の流動作用を早く停
止せしむるのと且つまた肥
料を大切にすることが理由で
ある、

町 紺屋町
藤沼醫院
電 五〇七番

和 須久井屋
電話四〇五番

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 三三三屋 平町 田町
用命は

正確な体温計
なる寒暖計
計量器指定販賣
平町五丁目
山野邊藥局

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻喉科
レントゲン科
平町田町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

入院隨時
手術室完備
根本 莊次郎
根本 貞雄
外科一般 泌尿器科
内臓外科
レントゲン科
北川外科
平町新川町二七(電四六四)
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次
血液検査毎日
イソデモ
入院キマス

産科、婦人科
根本醫院
平町南町五二 電話三四四番

電話 3 番
モーター付九ミリ半が
39圓で買へる
ホニモーター附報影機
F 3.5 ¥ 3900
F 2.9 ¥ 5800
お電話下されば機械持参
店員が説明申上ます
平 2 西村屋藥局

産科 婦人科 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄
平町新川町九一
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

浄土宗 祐天上人記
中興祖 祐天上人 蹟研究會
製作 祐天上人 蹟研究會
御後援
前文部大臣 松田源治閣下
福島縣知事 伊藤武彦閣下
福島縣學務部長 諸橋 遼
浄土宗務所 總務 局
大本山 芝罘 上寺

諸毒下りの大妙藥
安流丸
平町五丁目
持山 野邊藥局

サロンの エピ料理を
始めました
サロンの ベニエ (天ぷら)
三十銭
ベニエライス (天井)
三十五銭
どうぞ御試食を
レストラン **サロン**
電話三五二

洋服は
高島屋
注文並に既製品
今冬流行物
澤山陳列致しました
高島屋洋服店
平町二丁目 電話三八六

集募徒生
文部大臣 認可
平陽女學校
一、本科一年 (二ヶ年卒業) 五十名
一、技藝科一年 (二ヶ年卒業) 五十名
一、専攻科 (一ヶ年卒業) 二十名
一、各科二年 (補欠入學) 若干名
認可
一、科外生 1、洋裁科 若干名
一、入學願書提出 三月三十一日まで
一、新學期開始 四月一日より
學規則學案内書御申込により差上げます
平 町 電話四四四番

移轉お知らせ
今般スタチ才擴張の爲め左記
に移轉仕り候間從前通り御引
立の程偏にお願ひ申上候
平町田町五番地(三丁目北裏通り)
齋藤寫眞館
電話(呼)二七二番

齋藤齒科醫院
東京齒科 醫學士 齋藤 賢三
此の度左記の處に診療所を開業仕り
候間此段御通知申上候
診療科目
口腔外科、補綴科、
保存科、齒列矯正科、
小兒齒科、
(其他齒科一般)
毎日晝夜診療
日曜午後休み
平町田町(藤田女學校前)

集募徒生
文部大臣 認可
藤田女學校
一、願書受付三月三十日マデ
二、詳細ハ學則其他請求ノ事
平町田町(電話三二八)